

JPDA 3月定例理事会議事録

日 時：平成31年3月13日（水）午後1時30分～午後6時00分

場 所：文京シビックセンター(区民会議室) 5階 会議室C

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

出席者：理事24名中21名（伊藤 透、加藤芳夫、青木（入江）あずさ、牛島志津子、梅原 真、江藤正典、小川裕子、小川 亮、加藤（桑）和美、小原 司、鈴木智晴、高田知之、竹内清高、中越 出、中森恭平、永田麻美、信藤洋二、藤田 隆、三原美奈子、森 孝幹、山崎 茂）

監事2名中1名（時田秀久）

欠席届4名（池田 毅、井上 聡、畝野裕司、八木勇達）

議事録署名人： 伊藤 透、時田秀久

議事の経過

定款第31条(議長)により伊藤理事長を議長に選出し、議長は直ちに本日理事会出席者21名を確認、定款第32条(決議)による出席者が過半数に達していることを確認し、定款第34条により議事録署名人が伊藤透理事長、時田秀久監事の2氏であることを確認し、議事に入る。

(**決裁事項の議案号数はゴシック。**)

第1号議案 新入会員入会審査の件

本日の理事会までに、法人2社、個人1人から入会申込みがあり、定款6条（会員資格の取得）並びに会員規定に基づき入会審査を行い、下記の入会を承認した。

(1) 法人会員

<西日本>

1. 株式会社アジュバンコスメティックス【推薦者：矢野 恵一（平和紙業（株））】
2. 株式会社 東和印刷紙器【推薦者：時田 秀久】

(2) 個人会員

<東日本>

1. 村上 成光（むらかみ なりみつ）【推薦者：時田 秀久】

第2号議案 退会承認の件

本日の理事会までに退会届けを提出した法人会員1社、個人会員1人の退会を承認した。

(1) 法人会員

<東日本>

1. 有限会社アルスネットワーク【31年3月末退会希望】

(協会活動に参加せず会員である意味がなくなっているため)

(2) 個人会員

<東日本>

1. 近藤 和磨【31年3月末退会希望】

(一身上の都合により)

第3号議案 協会名義使用承認の件

本日の理事会までに下記1件の協会名義使用の依頼がありこれを承認した。

(1) 後援名義使用の依頼

1. 「ラベルフォーラムジャパン2019」(詳細：別紙)

【2019年7月9日(火)、10日(水)】

東京ドームシティ プリズムホール/東京ドームホテル】

主催：ラベル新聞社

第4号議案 正副理事長報告

伊藤理事長、井上副理事長(伊藤理事長が代読)、加藤専務理事より、現状の活動状況について以下の報告があった。

- 伊藤理事長
- ・1/25 東京デザイン会議(ファシリテーターとして登壇) & 新年デザイン交流会に出席
 - ・1/31 日本パッケージデザイン大賞2019贈賞式(プレゼンテーター)
 - ・2/1 JPC審査にJPDA代表として出席
 - ・2/4 協会案内リニューアル打合せ
 - ・2/5 D-8運営会議に出席
 - ・2/6 DATセミナーに参加
 - ・2/8 60周年展覧会委員会(東京国立博物館見学)
 - ・2/12 コンペ委員会に出席

- ・ 2/18 JPDAアーカイブセミナー（東洋インキ）
- ・ 2/19 協会案内リニューアル打合せ
- ・ 2/21 コンペ委員会に出席
- ・ 2/26 APD2020・60周年デザイン会議 準備委員会（3回目）
- ・ 2/27 60周年展覧会委員会（京橋サントリー）
- ・ 3/6 理事会事前打合せに出席
- 井上副理事長 ・ 1/25 東京デザイン会議（東洋インキ） &
新年デザイン交流会（銀座GINTO）
- ・ 1/30 レクシア特許法律事務所訪問
(3/1のセミナー講師 松井先生ご挨拶)
- ・ 1/31 日本パッケージデザイン大賞贈賞式（東京ガーデンパレス）
- ・ 2/12 奈良ビューロー打合せ（APD2020・60周年デザイン会議の
会場）
- ・ 2/14 調査研究委員会出席
- ・ 2/25 APD2020・60周年デザイン会議について国内交流委員会
担当理事に進捗報告
- ・ 3/1 西日本勉強会「クリエイターのための知的財産権の基礎」
+新年交流会の出席
- ・ 3/6 理事会事前打合せに出席
- 加藤専務理事 ・ 1/25 東京デザイン会議（東洋インキ） &
新年デザイン交流会（銀座GINTO）
- ・ 1/29 JIDAセミナー「ジャパンデザインを探る」に出席（AXIS）
- ・ 1/30 60周年特別セミナー打合せ（事務局）
- ・ 1/31 日本パッケージデザイン大賞贈賞式（東京ガーデンパレス）
- ・ 2/1 JPC審査会（印刷会館）、Jパックワールド交流会
- ・ 2/8 60周年展覧会委員会（東京国立博物館見学）
- ・ 2/15 東京国立博物館副館長と面談（60周年展覧会の企画相談）
- ・ 2/18 JPDAアーカイブセミナー（東洋インキ）
- ・ 2/26 2020APD・デザイン会議準備委員会打合せ（事務局）
- ・ 2/27 60周年展覧会委員会（京橋サントリー）

第5号議案 2020年60周年記念事業の経過報告

(1) 全体の概要

- ・ 資料に基づき、渡邊事務局長より、60周年記念事業全般の概要、2019～2020年のス

スケジュール、以下の60周年事業の今後の検討課題について説明があった。

- ① 「アジアパッケージデザイン会議」(2020年11月奈良で開催)
- ② 60周年JPDAパッケージデザイン学校設立(2020年4～6月)
- ③ 60周年企画展(2020年7～8月 印刷博物館P&Pギャラリーで開催)
- ④ 60周年創作展(2020年秋、場所は未定)
- ⑤ 第19回日本パッケージデザイン大賞2021(学生賞の新設と映像による一次審査)
- ⑥ 外部発信力の強化(JPDAサイトリニューアル、広報活動の強化)

・また、60周年事業全体のコンセプトを「**Crossing (クロッシング)『交』**」とすることが了承された。

(2) 展覧会(企画展)

- ・資料に基づき、加藤専務理事より、現時点の進捗状況について以下の説明があった。
- ・日本のパッケージデザインを、現在市場で販売されているものも含めて編集し、展示したい。JPDAが過去開催した「ロングセラー展」等の作品や、アーカイブ委員会が収集している過去のJPDA大賞受賞作品などからもピックアップしていく。
- ・かなり多様な作品を展示することになるので、大きく、複雑系デザイン(縄文土器がシンボル)とシンプル系デザイン(弥生土器がシンボル)に分けるとともに、いくつかのテーマ(現在検討中)を設定して、日本のパッケージデザインの魅力をアピールしていきたいと考えている。
- ・開催場所は凸版印刷博物館になるので、会場費、会場設営費等は基本的に先方もちになる。JPDAサイドとしては展覧会の考え方やグラフィックス(印刷物等)で協力していくことになるがこれから精査していきたい。

(3) パッケージデザイン学校

●作成された学校案内のパンフレットに基づき、小川亮理事から具体的な計画について以下の説明があった。

- ・この企画を考えたそもそもの発端は、JPDA60年の資産をこのままにしておくのはあまりにもったいない。このノウハウを生かしてパッケージデザインをさらに世の中に広めていくというJPDAの理念を具現化していくとともに、将来的な収益事業となる可能性があると考えたことである。

今日のパンフレットの内容はあくまでも60周年記念事業であり、良い結果ができれば将来的に継続したパッケージデザイン学校にしていきたいと考えている。

- ・ターゲットについては、一つ目は企業のデザイン部のブランドマネージャー、商品企画担当者。二つ目は地域の活性化を推進している行政(自治体)をイメージしている。
- ・パンフレット表紙(表1)のサブタイトルは「60年の知識と知恵を実務に生かすための8日間」とし、開くと伊藤理事長のご挨拶とともに、デザイナーである人、また、

デザイナーでない人双方に必要な知識を与える学校であることを明記してある。次の見開きページに加藤校長（1月理事会で確認）のご挨拶と講師の紹介、最後の見開きにプログラムの概要とスケジュール（仮）が紹介されている。

プログラム全体で8日間、1時間半の講座×27コマ、受講費は会員：230,760円、一般：280,080円（表4に会場紹介、申込み・支払い方法とともに明記）。講座はバラ売り（1講座は8,300円相当）はせず、あくまでも全講座を受講することを前提に考えている。また、全講座受講後には修了証書を与えることも検討したい。

- ・この内容をもって、ターゲットとなりそうな法人、行政部門に、内容・日程・受講料等についてのヒアリングをしていくつもりである。
- ・また、趣旨に賛同していただける方の中から、①上記のヒアリングの他、②講師の依頼、③PR活動、④学校の運営、⑤記録、⑥会計をお手伝いしていただく**運営スタッフを募集したい**と考えている。予算的に謝礼金や交通費は出せないが、協力いただいた運営スタッフにはポイントを付与して、例えば聞きたい講座を5つ受講できるなどのメリットを検討したい。

●費用、日程、内容等について出席者から出た検討課題は以下のとおり。

- ① ターゲットの更なる明確化（会員か非会員か？デザイナーかマーケティング・商品企画担当者か？学生も含まれるのか？）

⇒それによって講座内容、日程、修了書のあり方も変わってくる。

＜伊藤理事長＞

⇒デザイナーであれば広く浅くではなく専門的な知識を求めるし、企画担当者であれば担当部署がこの内容と費用を認めるかは不明。＜鈴木理事＞

⇒大手の企業であれば社内に育成プログラムがあり、外部の講座に行かせるかどうかは部門長次第。外部の場合「歴史と権威」が必要だと思う。＜中越理事＞

- ② 受講料・日程の問題

⇒法人で、この受講料と日程で受講させるには終了後なんらかの形のある報告（論文、卒業試験、修了証書等）が必要となる。＜高田理事、小原理事＞

⇒金額・回数から考えると難しい。どこかにしぼった集中講座は考えられないか。

＜山崎理事＞

- ③ その他の意見

・英文名の”SCHOOL”は軽すぎるのでは。＜桑理事＞

・日本包装技術協会の「包装専士」の資格取得のためには、ペーパー試験、論文、面接があり、それなりの権威付けがされている。＜中越理事＞

・1～5年の新人育成プログラムの一環としてコピーライター養成講座などに行かせることがあるが、鉛筆1本でも何か持って帰れるものがほしい。

<小原理事>

- ・協会員で講師に適当と思われる方がいたら是非紹介をお願いしたい。

<加藤専務理事>

- 最後に伊藤理事長より、今日の議論を参考にヒアリングを行って、再度の提案をお願いしたいとのコメントがあった。

(4) APD・60周年のロゴをJPDA会員から募集

- ・資料に基づき、伊藤理事長から60周年記念のロゴと2020年11月開催が予定されているAPD（アジアパッケージデザイン会議）のロゴ制作をJPDAの会員より公募をかけたいという提案があり、5月10日（金）締切で進めることが了承された。

第6号議案 2019（平成31）年度事業計画と予算（案）について

- ・渡邊事務局長より、2019年度事業計画と2019年度予算（案）についての提案があり提案内容通り承認された。

<事業計画についてのポイント>

- ・アーカイブ事業では、収集作品を披露する初めての展覧会を2019年11月（場：グッドデザイン丸の内）で検討中。その分の予算を厚めにとっている。
- ・インターネット事業では、JPDAサイトのリニューアルを2019年度からスタートさせたいという意向があり、その費用の一部、200万円を60周年事業積立金から取り崩す計画。
- ・展覧会事業のうち、日本パッケージデザイン大賞巡回展では、代官山蔦屋に加えて大阪梅田店でも開催したい希望があり現在検討中である。

（決定した場合、広報インパクトがかなりあるので、予算を別途相談したいとの山崎理事のコメントあり。）

- ・デザイン保護事業では、2回のセミナーを計画しているが、参加費（@1,000円）が少し低すぎるので今後検討していただくことになった。
- ・教育事業では、例年行ってきた若手デザイナーを対象としたワークショップ形式ではなく、デザイン界の幅広い層に向けたインパクトのあるトークショーを検討していく。
- ・国内交流事業では、2019年度のデザイン会議は開催せず、2020年のアジアパッケージデザイン会議（APD）の準備の年と位置づける。
- ・国際交流事業では、2020年APDのテーマや運営手順を確認する代表者会議が奈良で開催されるが、東京からの出張者が多いと思われるので、50周年（東京開催）のときと比べて予算（主に出張費）は増額してある。
- ・出版事業では、日本パッケージデザイン大賞2019の入賞・入選作品を掲載した「年鑑 日本のパッケージデザイン2019」を5月に発刊予定。

<予算案についてのポイント（詳細な数字は資料参照）>

- ・2019年度は出版事業の「年鑑」発刊と「パッケージデザインインデックス」の発刊準備(2020年5月発刊予定)両方の予算があるので、2017年度と同様に収入、支出とも大きな金額となっている。
- ・公益事業会計、収益事業会計、法人会計全体の経常収益総計は7,200万円、経常費用総計は7,170万円、経常増減額は+30万円。経常外増減額はインターネット事業への200万円積立金取崩も含めて-250万円、一般正味財産増減額は-220万円となる。
また、経常費用の公益比率は71.4%、一般正味財産期末残高の公益比率は80.6%である。

第7号議案 委員会報告 (●は資料あり)

<承認事項> (5件)

●西日本 ① (2018年11月の車木工房見学会の収支報告訂正)

- ・1月の理事会で同じ内容の収支報告があり、総額では承認されたが、交流会費を公益会計に含めていたので、その訂正を行った。
南谷事務局員から公益会計と法人会計の二つに分けた収支報告があり、
公益会計：収入 54,600円、協会補助62,500円、支出 109,867円、収支差額 +7,233円
法人会計：収入 70,200円、協会補助 0円、支出 67,500円、収支差額 +2,700円
が承認された。(総額は前回報告と同じ)

●西日本 ② (2019年3月の勉強会の活動報告と収支報告)

- ・三原理事より、資料に基づき3月1日に開催された西日本勉強会 ここんvol.4「クリエイターのための知的財産権の基礎」、及び、同日行われた新年交流会についての活動報告と収支報告があった。
勉強会の講師は東日本のデザイン保護委員会セミナーで高い評価を得ているレクシア法律事務所の松井先生にお願いした。参加者は具体例をまじえた知財についての基礎的な知識を知ることができ有意義な勉強会であった。
参加者は勉強会が55名(会員50名+新入会員2名：招待+一般3名)、交流会が45名(会員43名+新入会員2名：招待)。
当日配布された収支報告では、
公益会計：収入 54,500円、協会補助125,000円、支出 88,568円、収支差額+90,932円
法人会計：収入193,500円、協会補助 0円、支出186,798円、収支差額 +6,702円
が承認された。

●国内交流 (2019年1月の東京デザイン会議)の活動報告と収支報告

- ・鈴木理事より、資料に基づき1月25日に京橋東洋インキ(株)29階大会議室で開催された

東京デザイン会議「CROSSING 創造性の交差」についての活動報告と収支報告があった。今回のデザイン会議は新年交流会と同日開催であったことから、国内交流委員会と後述の東日本委員会が協力して企画・運営を推進した。

- ・パネリストは(株)Takram代表 田川欣也氏、Food Artist 諏訪綾子氏、(株)資生堂ECDの信藤洋二氏の3名。ファシリテーターは伊藤理事長が務めた。

会議前半では各パネリストが「現在」を語り、後半では「未来」についてのディスカッション、参加者も交えたクロストークを行った。全般的に参加者（136名）からの評価は非常に高かったが、とくに若い参加者から高評価をいただいた。

- ・収支報告では、
公益会計：収入948,000円、協会補助600,000円、支出1,434,386円、
収支差額+113,614円
が承認された。

●東日本（デザイン会議後の新年デザイン交流会の活動報告と収支報告）

- ・竹内理事より、資料に基づき1月25日の東京デザイン会議後の新年交流会についての活動報告と収支報告があった。
- ・開催場所は東京デザイン会議の会場から徒歩で行ける好立地のレストランGINTO銀座店。パーティー形式の交流会をDJブースから流れる音楽とゲストダンサーによるコンテンポラリーダンスが盛り上げ、195名の出席者が活発な情報交換・交流を行った。

- ・収支報告では、
法人会計：収入1,288,500円、協会補助0円、支出1,328,000円、収支差額-39,500円
が承認された。
因みに、デザイン会議と新年交流会を加えた総合的な収支は+74,114円であった。

●国際交流（2月の海外デザイン視察の事業活動報告と収支報告）

- ・森理事より、資料に基づき2月10～17日のインドネシア（ジャカルタ）とシンガポールの海外デザイン視察について、以下の活動報告と収支報告があった。（参加者29名）
- ・2日間滞在したジャカルタではADGI（インドネシアのグラフィックデザイン協会）の全面的な協力をいただき、ジャカルタのデザイナーの方々と一緒にスーパーなどの現場を周って、相互での意見交換の後、ワークショップ形式での発表を行うとともに、ジャカルタのデザイン会社2社を見学した。
一方、5日間滞在したシンガポールでは多彩なデザイン会社の視察を行ったが、通訳を入れた現地のデザイナーとのワークショップ形式での意見交換も盛り込んだ。
- ・永田理事より、同じ会社の参加者より、シンガポールでの通訳が大変よかったとのコメ

ントがあったとのこと。

- ・収支報告では、
公益会計：収入724,000円、協会補助 0円、支出723,959円、収支差額+41円
が承認された。

<報告事項>

●コンペティション

- ・竹内理事より、資料に基づき1月31日に行われた「日本パッケージデザイン大賞2019贈賞式」に関する報告があった。
- ・今回はソニーのアイボが大賞を受賞したが、参加者が前回よりも少なかったのはカテゴリー毎の入賞者数が前回よりも少なかったことに起因している。
- ・今回はメディアにリリースを送り数社にきていただいたこと、大賞を含む金賞11品を会場に陳列したこと、会場ステージのバックにJPDAのバナーを制作したことが新たな試みであった。

●デザイン保護

- ・高田理事より、資料に基づき毎月行っているホームページ更新について（詳細は議案書資料参照）、また、2月7日に日本橋DIC会議室で開催されたセミナー「事例で学ぶ、ストック素材利用の落とし穴」に関する報告があった。
- ・セミナーは参加者62名（会員53名、一般9名）。講師に迎えた(株)アマナイメージズの佐々木氏の資料とコメントが一般（初心者）の方にも解りやすく、全体の知識の底上げには役立ったと考えている。質疑応答も時間をオーバーするくらい出たことに加え、参加者へのアンケートも評価が高く、今後このようなセミナーを年1回継続するかどうかを委員会で検討していきたいとのこと。
- ・加藤専務理事から、東洋インキの会議室はこれからも借りられるのかという質問があったが、高田理事から、スケジュールが事前にわかればいままで同様対応可能であるとの回答があった。

●アーカイブ

- ・信藤理事より、資料に基づき3月7日に東洋インキ(株)大会議室において開催されたアーカイブ委員会第1回目のセミナー「二つの卓上瓶と日本的デザイン」についての報告があった。
- ・講師は(株)GKグラフィックスの佐藤雅洋氏と木村雅彦氏の2名。1961年に発売されロングセラー商品になっている「キッコーマン卓上しょうゆ瓶100ml」は、その30年後にリパッケージされ1993年に日本パッケージデザイン大賞の金賞を受賞したが、立ち上がりのエピソードや一つの商品がその後どのようにして進化してきたか等を講師に語っていただき、大変充実した内容であった。今後も同様のセミナーを続けていきたいと考え

ている。

●アスパック委員会

- ・江藤理事より、資料に基づき今年のアスパック（テーマは”INSPIRE”）の学校イベントについての案内があった。
- ・現在、第一次応募の締切である6月10日を意識して、東日本、西日本それぞれが準備を進めているが、5月に元号が変わることが影響しており、イベントの開催は5月下旬に集中するのではないかと考えている。東日本では学校毎に担当を決めており、総実施回数は昨年並みになると思われる。
- ・加藤専務理事から「応募要項はまだできていないようだが、早めにいただければ関係する学校に案内して応募を促すこともできる」との発言があった。

●調査研究

- ・桑理事より、資料に基づき3月19日（火）15:00～、品川のレンゴー本社大会議室での開催を予定している調査研究委員会の第1回研究会「パッケージデザインの価値はどうか」についての案内があった。（詳細は議案書の案内チラシ参照）
- ・基調講演は日本包装専士会副会長・未来包装研究委員会委員長である島田道雄氏にお願いしているが、通常のセミナーではなく参加者（MAX60名程度）からも意見を述べていただけるようなディスカッション形式を考えているとのこと。

●インターネット

- ・中越理事が退席したため、代わりに南谷事務局員からマイワークスリニューアルの紹介があったが、1点だけ、お願い事項として、セミナー等の開催後、結果報告がなされていないケースが多い（サイトにあるレポートページが機能していない）ので、各委員毎にインターネット担当を決めていただき、終了後速やかに結果報告を送ってほしい。配布した資料に名前のない委員会は理事会終了後速やかに、中越理事と事務局まで担当名を連絡いただきたいとのこと。

第8号議案 事務局報告

- ・渡邊事務局長より資料に基づき以下の報告があった。
 1. 会員異動状況について
 - ・東日本の個人会員広橋桂子氏は昨年12月にご逝去されたので、12月末をもって退会とした。
 2. 2018年度の決算報告について
 - ・4月9日の内部監査を経て、4月17日の臨時理事会での承認、5月30日の定例総会での承認された後、6月末までに内閣府への報告を行う。

3. 大賞贈賞式後のメディアの反応と入賞作品への王冠ロゴ使用について

- ・今回初めて、贈賞式の前後に外部メディア約100社に対しプレスリリースを送ったが、贈賞式後、宣伝会議、販促会議などのWeb媒体に多くの掲載記事が見られた。
(議案書に掲載例)
- ・また、贈賞式において、日本パッケージデザイン大賞のロゴマークの活用を案内したところ、中野製菓、資生堂など、5件の問い合わせがあった。

4. その他報告事項

① 「おおいたデザインエイド」への審査員派遣について

- ・「大分デザインエイド」の審査会において、西日本（福岡）の個人会員有吉みよ子氏に審査員就任を依頼した。

② 2/19（火）～2/22（金）の国際OEM・PB開発展について

- ・期間中21,262名の来場者があり、JPDAの三原理事、小川裕子理事の講演も立ち見が出るほどの満席の盛況であった。
- ・三原理事はデザイナーに対してどのように発注すればよいのか、発注書はどのように書けば良いのか等、普段はなかなか聞けない実務的な内容の講演。また、小川裕子理事は「おいしいデザインのパッケージ」というタイトルの「おいしい」は食品だけでなく他のジャンルの商品にもあてはまるということなどを丁寧に説明した講演だったとのこと。

③ 知財関連の新しい協会設立について

- ・東日本個人会員の平野吉雄氏が発起人の一人となり、今年の5月に知財関連の新協会「デザインと法協会」が設立されるとのこと。

第10号議案 次回臨時理事会開催の件

- ・伊藤理事長より次回4月の臨時理事会について案内があった。

日時：平成31年4月17日（水）午後1時30分～6時00分※

場所：文京シビックセンター（区民会議室） 5階 会議室 A

東京メトロ丸ノ内線・南北線「後樂園」駅前

以 上